

5 - 4 東海地方の微小地震の分布 (1996年5月1日～10月31日) Distribution of Microearthquakes in Tokai District (May 1-October 31,1996)

名古屋大学理学部
School of Science, Nagoya University

前報¹⁾に引き続いて1996年5月1日より1996年10月31日までの6カ月間における東海地方の微小地震活動について報告する。

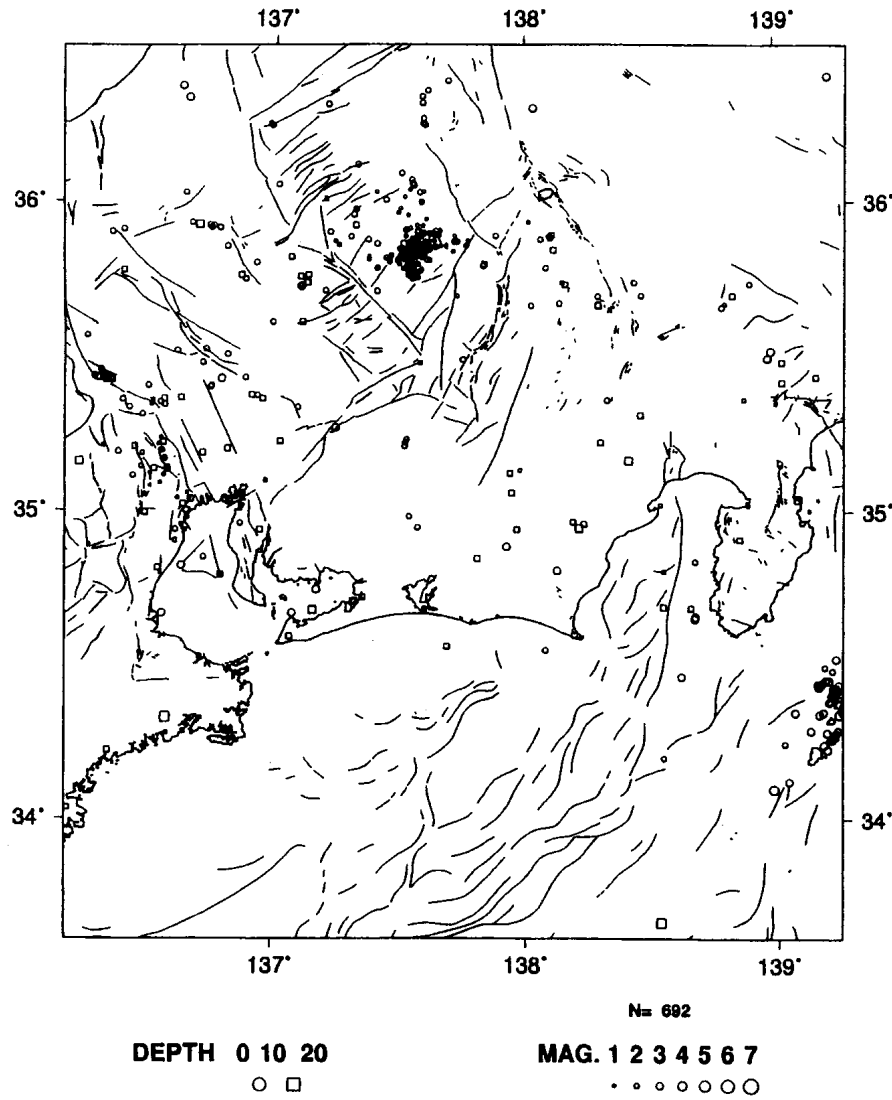
第1図は1996年5月1日より1996年10月31日までの6カ月間に名古屋大学理学部の地震テレメータ観測網によって観測された20km未満の深さで発生している地震の震央を3カ月ずつの期間に分けて示したものである。第2図は同じ期間に20km以深から80km未満の深さで発生した地震の震央を示したものである。

以下にその特徴について述べる。

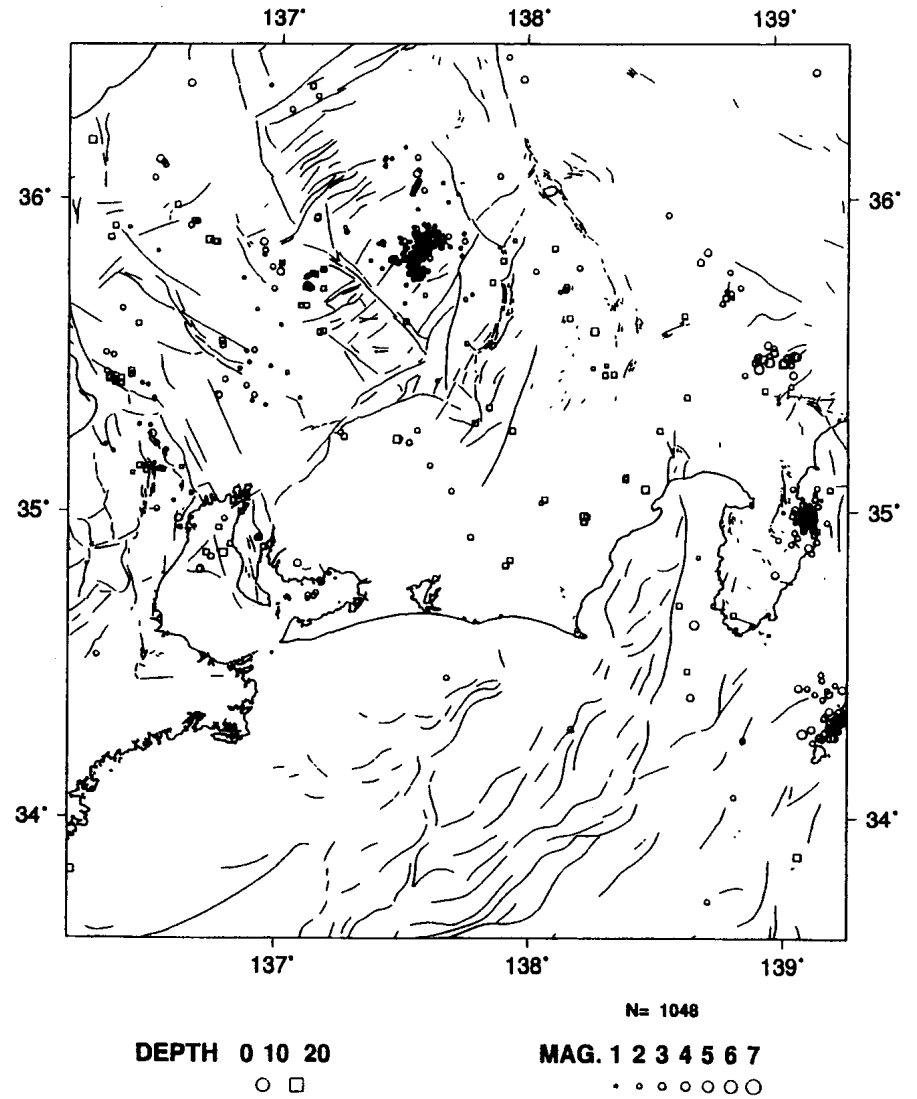
- (1) 上部地殻内に発生する地震については、東海地域では愛知県西部では静穏であったが静岡県東部ではやゝ活動的であった。
- (2) 長野県西部地域ではほゞ定常的であったが、8月からはやゝ静穏であった。10月15日から伊豆半島東北部で活発な地震活動が見られたが、この時期には長野県西部地域の活動は極めて静穏化し伊豆半島東北部の活動が終了した10月22日に活発化して以後は定常的になる相補的な活動が見られた。この様な活動は以前にもしばしば観測されている。²⁾
- (3) フィリピン海プレート内の地震活動は活動的であった。10月5日に静岡県西部でM4.4の地震があり、以後多くの微小地震活動が見られる。また愛知県東部地域でも活動的であった。

参 考 文 献

- 1) 名古屋大学理学部：東海地方の微小地震の分布 (1995年11月1日～1996年4月30日), 連絡会報, 56,(1996), 336-338.
- 2) 大井田徹：中部・東海地域における地震群の活動, 月刊地球, Vol.11, No.4,(1989), 199-203.



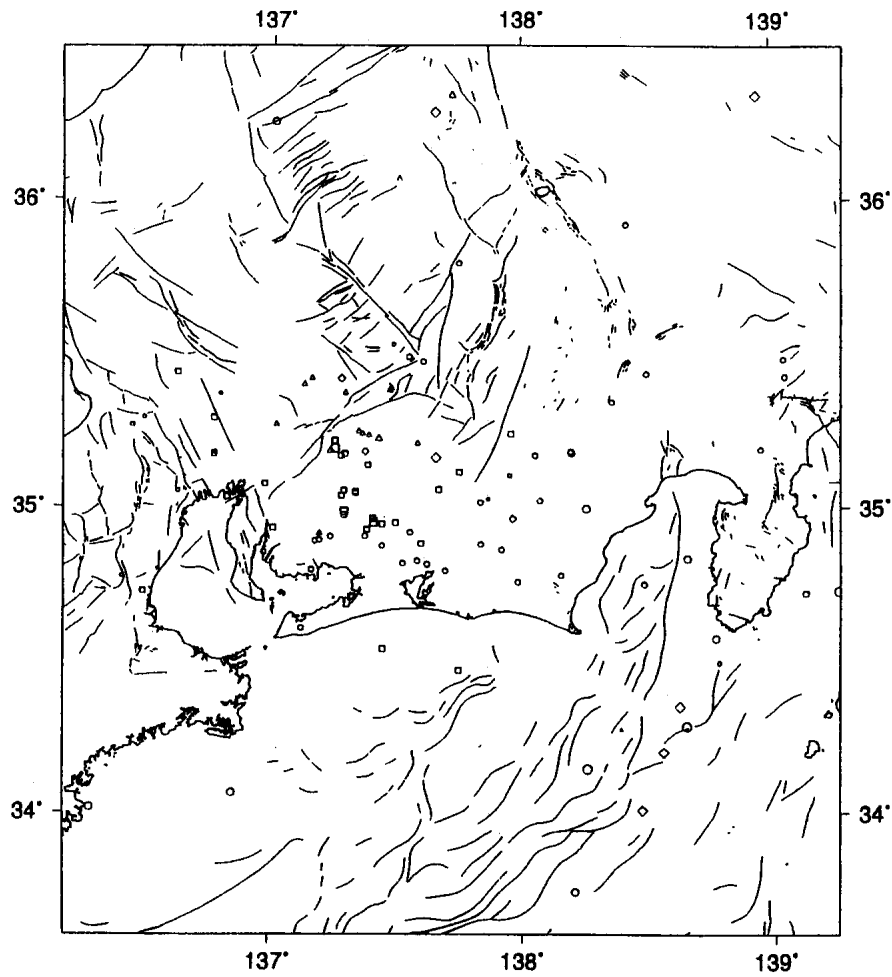
1996 5 - 1996 7



1996 8 - 1996 10

第1図 微小地震の分布 (1996年5月1日~1996年10月31日) 震源の深さが20km未満のもの

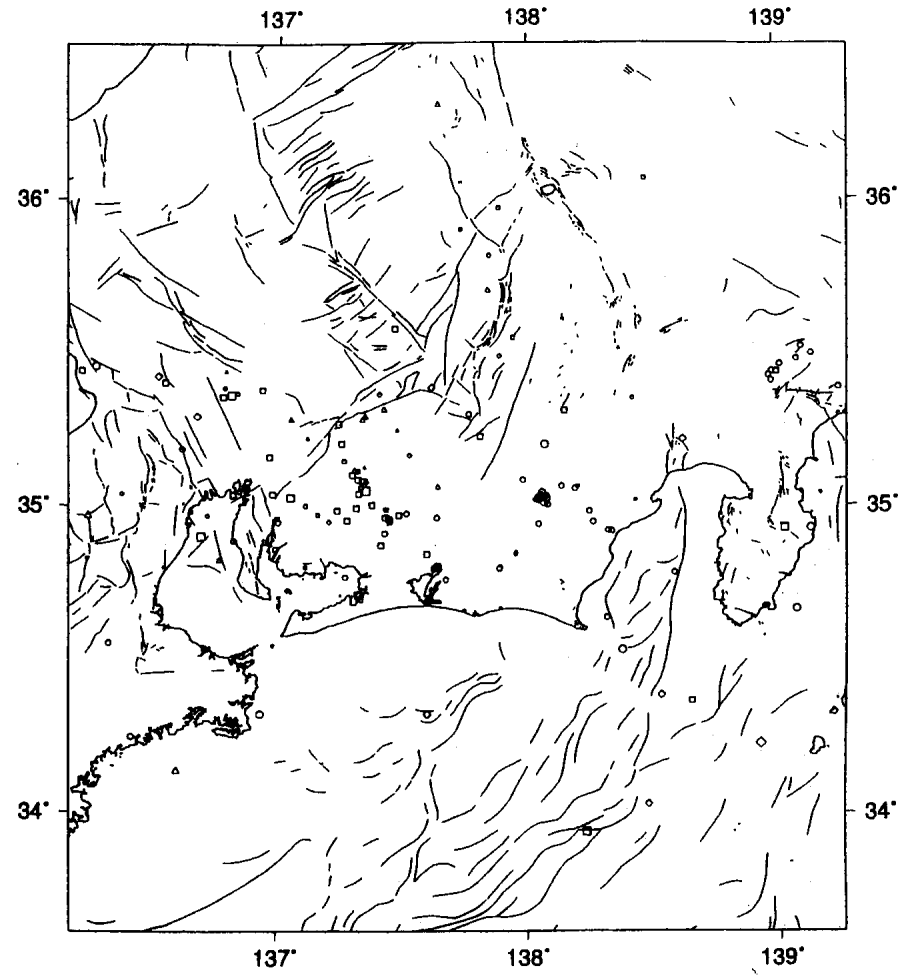
Fig. 1 Epicenter distribution of earthquakes (May 1, 1996-Oct. 31, 1996) shallower than 20km.



N= 110

DEPTH 20 30 40 50 80	MAG. 1 2 3 4 5 6 7
○ □ △ ◇	· · · · · ○ ○ ○

1996 5 - 1996 7



N= 150

DEPTH 20 30 40 50 80	MAG. 1 2 3 4 5 6 7
○ □ △ ◇	· · · · · ○ ○ ○

1996 8 - 1996 10

第2図 微小地震の分布 (1996年5月1日~1996年10月31日) 震源の深さが20km以深から80km未満のもの

Fig. 2 Epicenter distribution of earthquakes (May 1, 1996-Oct. 31, 1996) deeper than and equal to 20km.